律詩（春望・八月十五日夜、禁中独直、対レ月憶二元九一）　＊＊＊

次の(A)・(B)二首の唐詩を読んで、後の問いに答えなさい。［50点］

(A)　春望

①国破レテ山河在リ　城春ニシテ草木深シ〈首聯〉
感ジテハ時ニ花ニモ濺ギ涙ヲ　恨ンデハレ別レヲ鳥ニモ驚カス心ヲ〈頷聯〉
烽火連ナリ三月ニ　家書抵タル万金ニ一〈頸聯〉
白頭掻ケバ更ニ短ク　渾ベテ欲スレ不レ勝ヘント簪ニ〈尾聯〉

(B)　八月十五日夜、[a]禁中独直、対月憶元九

銀台金闕夕ベ[b]沈沈　独リ宿シ相思ヒテ在リニ翰林ニ一
[c]三五夜中新[d]月ノ色　二千里外故人ノ心
渚宮ノ東面煙波冷ヤヤカニ　浴殿ノ西頭鐘漏深シ
猶ホ恐ルニ清光不ルヲニ同ジクハ見一ニ　江陵ハ卑湿ニシテ足ルニ秋陰一

問一　(A)・(B)詩の詩型を、それぞれ漢字四字で答えなさい。

問二　(A)・(B)詩の押韻する字をそれぞれ全て抜き出しなさい。

問三　(A)・(B)詩の作者について、次の問いに答えなさい。

1　作者名をそれぞれ漢字で答えなさい。

2　唐詩の流れを四つの時代に区分したとき、(A)・(B)詩の作者が生きた時代はどの時代か、それぞれ漢字二字で答えなさい。

問四　(A)詩について、次の問いに答えなさい。

1　傍線部①とは、唐王朝の繁栄を一挙に崩壊に向かわせる契機となった争乱を指す。この争乱がまだ続いていることは第何句に表現されているか、漢数字で答えなさい。

2　第六句を現代語訳しなさい。

3　第八句を全て平仮名で書き下し文にしなさい。

4　次の説明はそれぞれ何聯のものか、漢字で答えなさい。

i　老いの自覚と嘆き。

ii　人為の浮き沈みの激しさと自然の悠久さ。

iii　目にするもの全てに心が惑乱する思い。

問五　(B)詩について、次の問いに答えなさい。

1　二重傍線部a～dの語句の意味を答えなさい。

2　「二千里外故人心」とは誰の心か、本文中の言葉で答えなさい。

3　「猶恐清光不同見」とあるが、作者は何を心配しているのか、簡潔に説明しなさい。

4　(B)詩の鑑賞を説明した次の文章の空欄に当てはまる語を、それぞれ漢字一字で答えなさい。

離れ離れとなった大切な①を思いやる内容である。詩人と離れた所にいる大切な①とを、距離を超えて結び付けるものは夜空の②である。

問五					問四		問三	問二	問一
4	3	2	1		3	1	1	(A)	(A)
①			c	a			(A)		
②									
						2			
									(B)
							(B)	(B)	
					4				
					i				
			d	b					
					ii		2		
							(A)		
					iii		(B)		

学年
組
番号
氏名
得点

律詩（春望・八月十五日夜、禁中独直、対レ月憶二元九一）　＊＊＊

〔出題の意図と留意点〕　完成テストである。杜甫と白居易の律詩を用いた。唐詩の基本事項から詩人に関する知識、語彙、さらに読解と鑑賞まで問える問題をそろえた。時代を超えて読者の心をとらえてきた作品を通じて、力を養ってほしい。

☆解答例と配点

問一　(A)　五言律詩　(B)　七言律詩　〈２点×２〉

問二　(A)　深・心・金・簪　(B)　沈・林・心・深・陰　〈２点×４〉

問三　１　(A)　杜甫　(B)　白居易　２　(A)　盛唐　(B)　中唐　〈２点×２〉

問四　１　五　〈３点〉　２　家族からの手紙は大金に相当するように感じられる。　〈３点〉

３　すべてしんにたへざらんとほつす　〈３点〉

問五　１　**a**　宮中　**b**　しんしんと（夜が）更ける　**c**　十五夜　**d**　十五夜の空に昇り始めた月

〈２点×４〉

２　元九　〈３点〉

３　江陵は湿気が多く、秋の空は曇りがちなので、月光が同じようには見えないのではないかということ。

〈４点〉

４　①　友　②　月　〈２点×２〉

計50点